

1

高1生科／年間カリキュラム

高1の間に、 現役合格の鍵になる 「英語」と「数学」の 土台を築く。

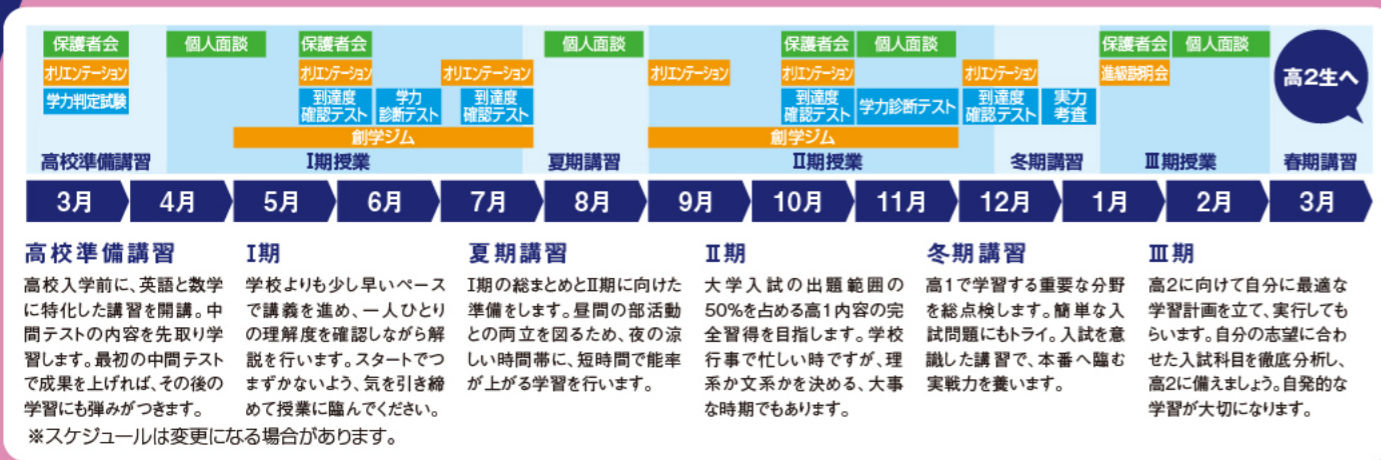
高校別・習熟度別クラス設定で着実に「学び」を積み上げ、現役合格を目指す。

高1生科では新入試を意識した学びに取り組みながら、各高校の授業進度と深度にも配慮した指導を行っています。新入試では、部活動やボランティア活動、課外活動への参加など、高校生活を報告する調査書も重視されます。授業は、20:00から始まるため、部活動をはじめとした、さまざまな活動と受験勉強の両立が可能です。

※講習会などでは18:10から始まる講座もあります。



部活も両立



高1英語〈高校別〉

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、東大・京大・阪大・神大・兵庫東立大・早慶関関同立・産近甲龍などへの合格をめざす高1生

講座内容 高校1年生は、英文法の基礎を作り上げるうえで最も重要な時期といえます。中学英語とは異なり、新たな概念が導入されたり、英文自体が長くなるため、入念な対応が必要となります。よって、この講座では、重要構文を用いて文法の土台を固めると共に、読解問題で使える文法知識を確実に定着させることを目指します。

大まかな年間学習計画

高校準備講習	I期	夏期講習	II期	冬期・III期
品詞の理解 5文型	時制 助動詞 不定詞	動名詞 受動態	分詞 比較 関係詞 仮定法	否定 倒置 同格 無生物主語 文構造 名詞節

高1英語〈トップ〉／〈発展〉

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、東大・京大・阪大・神大・早慶関関同立などへの合格をめざす高1生

講座内容 高校1年生は、英文法の基礎を作り上げるうえで最も重要な時期といえます。中学英語とは異なり、新たな概念が導入されたり、英文自体が長くなるため、入念な対応が必要となります。よって、この講座では、重要構文を用いて文法の土台を固めると共に、読解問題で使える文法知識を確実に定着させることを目指します。

大まかな年間学習計画

高校準備講習	I期	夏期講習	II期	冬期・III期
品詞の理解 5文型	時制 助動詞 不定詞	動名詞 受動態	分詞 比較 関係詞 仮定法	否定 倒置 同格 無生物主語 文構造 名詞節

※カリキュラムは、目安です。カリキュラムは変更になる場合があります。

高1英語〈標準〉

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、神大や岡大・兵庫東立大などの国公立大、または関関同立大・産近甲龍などへの合格をめざす高1生

講座内容 高校1年生は、英文法の基礎を作り上げるうえで最も重要な時期といえます。中学英語とは異なり、新たな概念が導入されたり、英文自体が長くなるため、入念な対応が必要となります。よって、この講座では、重要構文を用いて文法の土台を固めると共に、読解問題で使える文法知識を確実に定着させることを目指します。

大まかな年間学習計画

高校準備講習	I期	夏期講習	II期	冬期・III期
品詞の理解 5文型	時制 助動詞 不定詞	動名詞 受動態	分詞 比較 関係詞 仮定法	否定 倒置 同格 無生物主語 文構造 名詞節

高1阪大・神大・国公立大への英語

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、阪大・神大・早慶関関同立などへの合格をめざす高1生

講座内容 高校1年生は、英文法の基礎を作り上げるうえで最も重要な時期といえます。中学英語とは異なり、新たな概念が導入されたり、英文自体が長くなるため、入念な対応が必要となります。よって、この講座では、重要構文を用いて文法の土台を固めると共に、英文解釈にもチャレンジしていきます。

大まかな年間学習計画

冬期講習・III期
否定 強調 倒置 同格 無生物主語 文構造 名詞節 名詞節

高1数学〈高校別〉

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、東大・京大・阪大・神大・兵庫東立大・早慶関関同立・産近甲龍などへの合格をめざす高1生

講座内容 高校数学は中学と比べてレベルが高く、学習量も多く、基本事項をマスターするだけでも、他の教科と比べて多くの時間を要します。この講座では確実に基本事項を押さえ、丁寧にまとめていきます。また、演習を重ねるなかで、得点力を確実に身につけていきます。

大まかな年間学習計画

高校準備講習	I期	夏期講習	II期	冬期・III期
数と式(数I)	数と式(数I) 2次関数(数I)	場合の数・確率(数A) 図形の性質(数A)	図形と計量(数I) いろいろな式(数II)	図形と方程式(数II) 指数・対数(数II) 三角関数の応用(数II)

高1数学〈標準〉

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、神大や岡大・兵庫東立大などの国公立大、または関関同立大などへの合格をめざす高1生

講座内容 高校数学は中学と比べてレベルが高く、学習量も多く、基本事項をマスターするだけでも、他の教科と比べて多くの時間を要します。この講座では確実に基本事項を押さえ、丁寧にまとめていきます。また、演習を重ねるなかで、得点力を確実に身につけていきます。

大まかな年間学習計画

高校準備講習	I期	夏期講習	II期	冬期・III期
整式の乗法・因数分解(数I)	数と式(数I) 2次関数(数I)	場合の数・確率(数A) 図形の性質(数A)	2次関数(数I) 図形と計量(数I)	図形と方程式(数II) いろいろな式(数II)

高1阪大・神大・国公立大への数学

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、阪大・神大・早慶関関同立などへの合格をめざす高1生

講座内容 現役合格を目標としたカリキュラムを組み、「より早く、より深く」受験数学のテクニックをみなさんに伝えていきますので、相当高度な内容となります。テキストの問題を習得するだけで、標準的な入試問題なら十分おつりがくる内容です。

大まかな年間学習計画

夏期講習	冬期講習・III期
図形と方程式(数II) 指数・対数(数II) 三角関数(数II)	

高1東大・京大・阪大・医学部への英語

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 東大・京大・阪大など超難関大学に通用する英語力を身につけたい高1生

講座内容 最高峰の大学入試問題に備えるためのクラスです。I期～III期にかけて学習してきた文法をベースに、断片的な文法知識を一本の線にして、長文問題(読解)において、どう使っていくかを学習します。英文構造を中心として、表現法、単語の微妙な意味の違い、文構成、論理的思考など、読解において必要なすべての要素を追求し、あらゆる角度からの入試問題に対処できる能力を養います。

大まかな年間学習計画

冬期講習・III期
入試長文へのフロー①～⑧

高1国公立大・関関・私立大への英語

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、神大や岡大・兵庫東立大などの国公立大、または関関同立大・産近甲龍などへの合格をめざす高1生

講座内容 高校1年生は、英文法の基礎を作り上げるうえで最も重要な時期といえます。中学英語とは異なり、新たな概念が導入されたり、英文自体が長くなるため、入念な対応が必要となります。よって、この講座では、重要構文を用いて文法の土台を固めると共に、読解問題で使える文法知識を確実に定着させることを目指します。

大まかな年間学習計画

冬期講習・III期
否定 強調 倒置 同格 無生物主語 文構造 名詞節 名詞節

高1数学〈トップ〉／〈発展〉

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 2年後、東大・京大・阪大・神大・早慶関関同立などへの合格をめざす高1生

講座内容 現役合格を目標としたカリキュラムを組み、「より早く、より深く」受験数学のテクニックをみなさんに伝えていきますので、相当高度な内容となります。テキストの問題を習得するだけで、標準的な入試問題なら十分おつりがくる内容です。

大まかな年間学習計画

高校準備講習	I期	夏期講習	II期	冬期・III期
数と式(数I)	数と式(数I) 2次関数(数I)	場合の数・確率(数A) 図形の性質(数A)	図形と計量(数I) いろいろな式(数II)	図形と方程式(数II) 指数・対数(数II) 三角関数の応用(数II)

高1東大・京大・阪大・医学部への数学

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 東大・京大・阪大など超難関大学に通用する数学力を身につけたい高1生

講座内容 最高峰の大学入試を突破するために「より早く、より深く」受験数学のテクニックをみなさんに伝えていきます。相当高度な内容となりますが、各単元は基礎から導入していきます。国公立2次試験の基本的なレベルまでの内容を指導します。

大まかな年間学習計画

冬期講習・III期
図形と方程式(数II) 指数・対数(数II) 三角関数(数II)

高1 入試古文入門講座

習熟レベル 1 2 3 4 5 6

対象 難関国公立大や難関私立大への合格をめざす高1生

講座内容 夏期・冬期・III期に開講する特別講座です。古文に苦手意識をもっている人は意外に多いのではないだろうか。入試古文の決め手となる要素や、つい間違えてしまいがちな箇所を、アツと驚くユニークな古典教材を使って熟知・伝授します。嫌だった古文も好きになる!

大まかな年間学習計画

夏期講習	冬期講習	III期
古典文法の要点①(用言) 古典文法の要点②(助動詞) 古文読解	基本古語の習得 古典文法の要点「用言」「助詞」「敬語」などの文法 古文読解	読解問題へのフロー①～⑧

※カリキュラムは、目安です。カリキュラムは変更になる場合があります。